

一体いつになったら「欠陥スロープ」を改善するのか!?

車いすのお客様の安全に関わる重大な問題である!

6月、N700Sタイプ列車に対応できる「新型スロープ」が新幹線各駅に配備されました。

しかし、「新型スロープ」は、ホームとスロープの接する部分の角度により段差が発生します。そのため、車いすのお客様が新幹線に乗車する際に、車いすの前輪を少し上げないとスロープの角度のところで止まってしまいます。さらに、止まった車いすを介護の方が力を入れて押したときに、前のめりに転倒する恐れがあります。また、車いすを介助される方がおられないときに、車いすの前輪を上げすぎると後ろ向きに転倒する恐れもあります。

早急に「欠陥スロープ」の改善を! 関西支社に申し入れ! 赤羽国土交通大臣神戸事務所を訪問

私たち東海労は、「欠陥スロープ」を改善するために、8月11日に関西支社に対して申し入れを行っています。職場においても管理者に問題点を訴えています。

しかし、東海会社は「欠陥スロープ」の問題点を把握しているにもかかわらず、一向に改善する動きはありません。さらに、9月から「旧型スロープ」を使用停止にして、「欠陥スロープ」だけの使用にしました。

「欠陥スロープ」は車いすのお客様が転倒する恐れがあるなど、安全上において重大な問題です。私たちは、一向に動かない会社に対して、これまで申し入れなどを行っています。9月7日には、赤羽国土交通大臣の神戸事務所を訪問して、「欠陥スロープ」の問題点について話をさせて頂きました。

会社は、車いすのお客様の安全を確保するために、早急に「欠陥スロープ」を改善しなければなりません。